

Report

Hokkaido Soil Research Cooperative Association

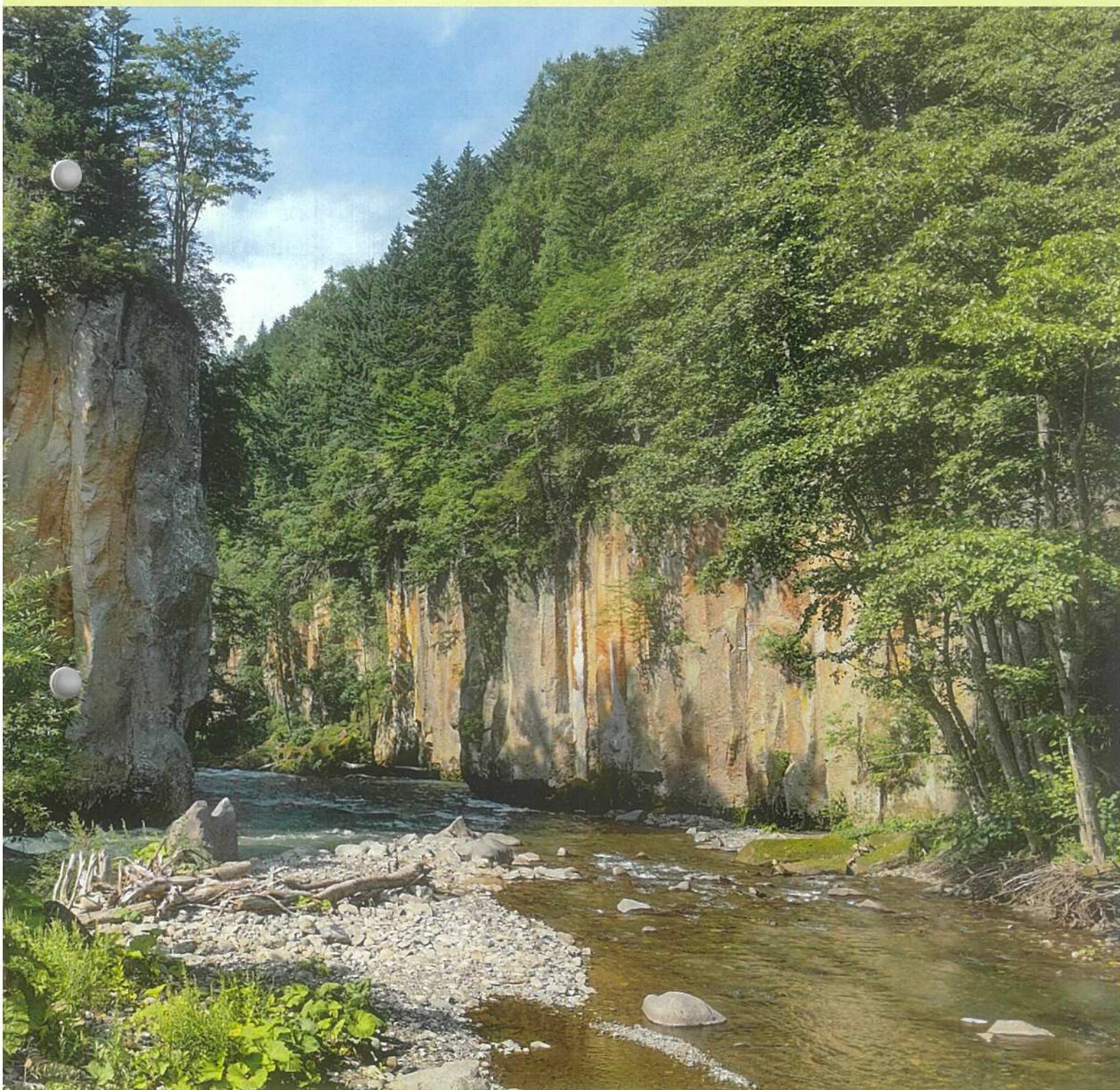
SRC



2025. 9
No. 414

ISSN 1342-1409

北海道土質試験協同組合広報誌



表紙写真 層雲峡大函
[写真説明]

柱状節理の発達した溶結凝灰岩の絶壁が続く峡谷の端にあたる大函、ここから北西約2.5km地点に小函がある。不思議なことに小函のほうが大函より高さがあるという。その小函へ通じる遊歩道は落石の危険があるため通行禁止となっており現地には行けないが、小函の写真が掲載されているHPがあるので是非一度拝見してみてください。写真でも圧倒されます。

目

次

1. 巻頭言	1
建基コンサルタント株式会社 代表取締役社長 柏原 浩	
『バイクツーリングと道の駅巡りとそれから。』	
2. 管理者講習会参加報告.....	3
3. 電気式コーン貫入試験のシステムを更新しました	4
4. 「令和7年度河川技術講習会」が開催されました	4
5. 千歳川河川事務所の若手技術者様が来所されました	5
6. 令和7年度第3・4回理事会議事録	6
7. お知らせコーナー	7
8. 部門別試験実績6・7月分	8



バイクツーリングと道の駅巡りとそれから。

建基コンサルタント株式会社
代表取締役社長 柏原 浩

令和 7 年 2 月より代表に就任致しました建基コンサルタント株式会社 柏原でございます。
この度、寄稿の依頼をいただき、恐縮ながら就筆させていただきます。

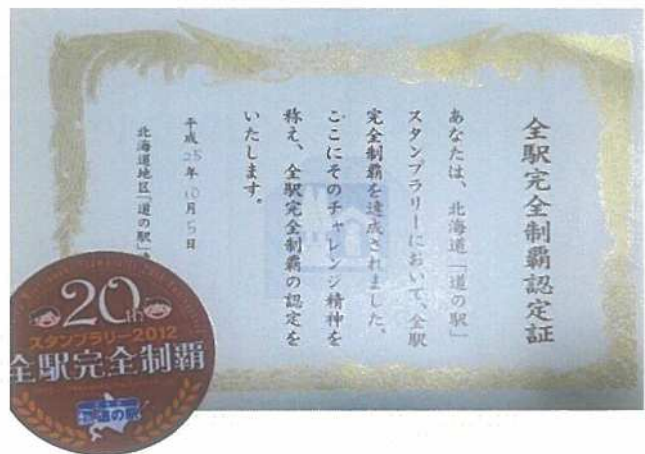
思い起こせば、バイク熱が一番い高校生だった頃の免許取得は、三ない運動「免許を取らせない」「買わせない」「運転させない」のスローガンが有りツーリングなど、とんでもないといわれていた時代でした。20 歳になり自動車免許を取得するとバイクへの興味が冷めてしまったまま月日経ちました。40 代後半になり息子の野球送迎がひと段落した為、2 台所有の車を一台にすることをきっかけに自分専用の原付バイクを購入し乗り始めましたある日、ビル風の強風にあおられてふらつき転倒しそうになりました。そこで小さいバイクでは危ないと実感、30 年ぶりで自動車学校に通い「小型自動二輪免許」を取得する事を決めました。

いざ行ってみると、中年おじさんは私だけで、卒業検定に1度落ち教官には嫌味を言われながらも免許を取得、早速 125cc スクーターを購入。通勤と札幌近郊のツーリングを楽しんでいましたが、3 年乗るとスクーターに飽きてきたのと高速道路が通行できない不便さも感じ、1つ上の排気量に乗りたくなり限定解除にて「中型自動二輪免許」に挑戦しました。ここでも卒業検定に落ちて補修ののちに免許を取得できましたが、合格者発表の時に私の名前だけ呼ばれません「え～落ちたか！」と検定官に確認したところ「忘れていました。貴方のように小型から中型への取得は少ないから」とのお言葉で珍しい例のようでした。何はともあれ取得できればこっちのものです。会社の二輪免許を持っている後輩からは「随分と遠まわりしましたね」と言われましたが、ここから行動範囲がぐんと広がり道の駅巡りを始めました。

ただ全てバイクで廻ったわけではなく、家族旅行や業務移動中に立ち寄ったりした数か所を含めて、2年間で当時の道の駅<114 箇所>を廻り、平成 25 年 10 月 5 日歌志内チロルの湯を最終ゴールとしました。



そして、達成の影には大変嬉しかったこんなエピソードがあります。自分のうっかりから「大滝の道の駅」トイレに立ち寄った際、スタンプ帳を置き忘れた事に気が付きすぐに戻りましたが、もうそこには無く意気消沈して帰宅しました。それから1週間ほどして自宅に差出人なしの郵便物が。中にはスタンプ帳が入っているではないですか、女性の達筆な文字で先日道の駅にて息子さんがトイレから持ってきてしまったと、お詫びの手紙が添えられていました。もう完全にあきらめていた気持ちが、そこから間違いなく再燃しました。これはスタンプラリー帳の住所氏名欄と優しい気遣いのお陰ですが、今はスマホ連動デジタルスタンプラリーなるものがあるようです。



さて、北海道内「道の駅」を制覇し、次に挑戦する事を考えていたところ、以前テレビで「郵便局 100 円貯金巡り」をしている姉妹の事を思い出し「アッこれだ！」と再び蒐集意欲に火が付きしました。これは郵便局貯金窓口限定で入金用紙に記入し通帳に局名のスタンプを押印してもらうものです。通常は〇〇郵便局と局名スタンプなのですが、中には「お宝スタンプ」というものが有り、例えば、道内では鹿部局の間欠泉とホタテ図案。札幌大通局では時計台の図案。岡山では桃太郎などと、ご当地名物が在りそれも楽しいのです。旅行先や出張先には通帳を持ち歩き3冊目となった現在は、訪問局が道内・道外合わせて452局となりました。【日本最北端郵便局】の宗谷岬局と【北海道最南端局】の白神郵便局は行きましたが、北海道最東端・最西端の2局はまだ未訪問です。日本最北端は行ったのだから日本最南端郵便局である沖縄県波照間局に行くには？などと旅の行程を考えるのも楽しみのひとつです。

二輪免許を取得して今年で15年目です。年間走行距離が短くなり家族からは「もうそろそろ今年で卒業したら」と言われ、確かに自分でもバイクの取り回しが重く感じるようになってきたかなと思うところもあります。

さあバイクを辞めたら？次に何をしようかと密かに考えている今日この頃です。

管理者講習会 参加報告

技術部 高橋 孝輔

この度、2025年、6月27日に当組合で開催されました管理者講習会「管理者のための問題解決力向上」セミナーに参加致しました為、参加報告を致します。株式会社インソース、糠塚様をお招きし、職員7名が講習を受けました。一部、グループディスカッションがありました為、各4名、3名のグループに分かれ、意見を出し合い発表するなど行われました。他社員の考えなどを聞けるといった貴重な体験でした。

企業の中核人材として求められる役割は、何であるのか、昭和・平成・令和の組織に対する考え方の違いや現場での問題解決に向けたプロセスの組み方など、実践的な事も含め、多くを学ばせて頂きました。一つとしては、上司から求められる役割・行動は何であるのか、それらを相互理解し、目的を共有するという事が重要であるという事です。部下は、上司の立場になって主体的なサポートをする必要があります、上司が気づかないような点があれば、率先して一歩進んだ仕事をする心掛けや確認が必要です。これは、目的が明瞭であると出来る行動になります。上司の立場では、人それぞれ考え方が異なるという前提で目的を明確にしなければなりません。物事の伝え方など工夫をしていく柔軟性が必要で、部下から確認など聞かれやすい環境を整える事も必要です。目的を明確にさせていく事で、受動的な行動を減らし、生産性を向上させる事が求められます。

また、昨今、国内の人口は減っていく一方、企業の人材難はさらに顕著になるとされております。昭和・平成の組織と令和の組織では考え方が異なり、令和では多様性の理解と尊重が必要で、それぞれ人が働く目的、価値観が異なる為、企業に求めるものが多様化しているとの事です。働き方や休暇の一例では、リモート、フレックスの導入や夫婦共働きによる男性の育児休、年齢50代以上の人達の親の介護休など、様々な要求への理解が必要になります。どのような事を求めているのか令和の人々の考え方を知る事が重要で、働き手が働きやすい職場に人が居つき、仕組みが整っている企業に人が集まる、そのような会社を目指せるよう、自分出来る事、するべき事に努めなければならないと感じました。



管理者講習会 状況写真

電気式コーン貫入試験のシステムを更新しました

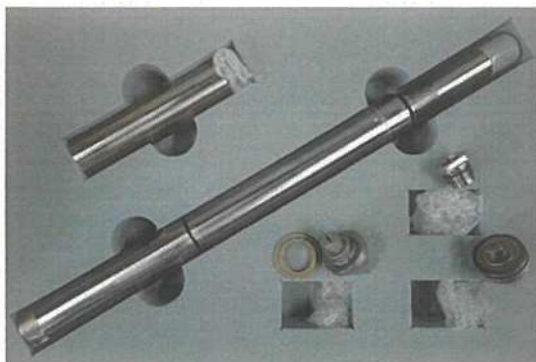
当組合で保有している電気式コーン貫入試験機(以下 CPT)は、2009 年 5 月に導入してから 14 年が経過し、プローブやロガーの消耗が顕著となっています。現行の機種は米国の Vertek 社製ですが、今回新たに日本のソイルアンドロックエンジニアリング社製(以降 SRE)の機種を選定し導入しました。CPT のプローブ諸元を以下に示します。

CPT プローブ容量諸元

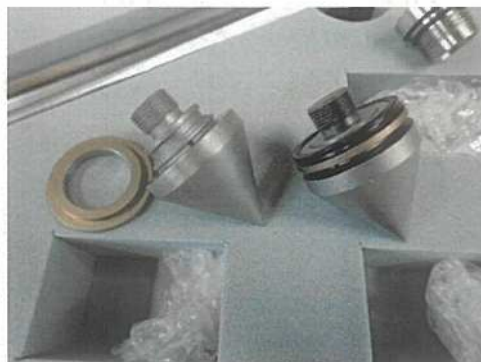
先端抵抗 (MPa)	100
周面摩擦 (MPa)	1.5
間隙水圧 (MPa)	5.0

システムを日本製とすることで、メンテナンス、校正期間の短縮(日本製 10 日、米国製 3 週間)や機器のトラブルがあった場合などはメーカーへ直接問い合わせが可能となり、これらは大きなメリットとなります。また、計測ソフトも日本語化(現在は英語版)していただく予定になっています。

現在、軟弱地盤の原位置試験では、機械式コーン貫入試験+ピートサンプリングが主流ですが、電気式コーン貫入試験は、連続したデータが得られ、先端抵抗以外にも多くの情報を得ることができるなどのメリットがあります。原位置でのサウンディングには是非、電気式コーンの利用を御検討いただければと思います。



コーンプローブ



先端コーン

「令和7年度河川技術講習会」が開催されました

令和 7 年 8 月 4 日～5 日の 2 日間に、北海道開発局「令和 7 年度河川技術講習会」が開催されました。講習会 2 日目に北村遊水地現場にて、「原位置試験の体験及び展示」を当組合の原位置部門が担当いたしました。現地講習は、各建設部から若手技術者 78 名の参加を頂き、4 グループに分かれ、機械式コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、現場密度試験を体験していただきました。また、電気式コーン貫入試験、スクリーウエイト貫入試験、ピートサンプリングを展示し、概要の説明を聞いていただきました。



機械式コーン貫入試験



ポータブルコーン入試験



現場密度試験



PEATサンプリング

千歳河川事務所の若手技術者様が来所されました

札幌開発建設部 千歳河川事務所の若手技術者が7月29日(火)に当組合試験室の見学に訪れました。限られた時間ではありましたが、一部の土質試験については実演を含めて説明し、試料の整形などは実際に作業を経験していただきました。供試体整形の難しさと整形器具にギター用の弦を使用していることに感心されていました。その他、各試験担当者が物理、三軸、土の締固め、サウンディングの説明を行いました。質問も多く頂き、最後まで非常に関心をもって見学されていました。



供試体整形体験



突固めによる土の締固め試験説明

令和7年度 第3回理事会 議事録

1. 開催日時	令和7年6月23日（月） 午後1時30分
2. 開催場所	組合会議室
3. 理事総数	6名
4. 議事の経過の概要	議案（１）事業報告 令和7年度4月、5月の売上はともに計画を達成していることを報告した。原価については昨年度よりも若干下回り、管理費については昨年度同様の状況であることを報告した。 (有)共同土質試験の営業実績についても審議し、売上げは昨年度実績および計画をやや下回っていることを報告した。 議案（２）その他 ア. 職員の上期賞与について審議し、支給方法を決定した。 イ. 6月6日(金)に開催されたジオ・ラボネットワーク経営懇談会の内容について報告した。 ウ. 6月13日(金)に特別講師に北海道大学院の西村聡教授を招き第40回技術懇談会を、組合員、組合職員合計114名の参加で開催したことを報告した。 エ. 次回理事会は、令和7年7月28日(月)または令和7年7月29日(火)で調整する事を決定した。

令和7年度 第4回理事会 議事録

1. 開催日時	令和7年6月29日（火） 午後1時30分
2. 開催場所	組合会議室
3. 理事総数	7名
4. 議事の経過の概要	議案（１）事業報告 令和7年度6月の売上は計画を下回っているが7月以降から受注量が増加しており、総受注金額は年間売上計画の3割程度まで達していることを報告した。 4～6月期の原価は計画より低く推移しており、昨年度に比べても原価を低く抑えられていることを報告した。管理費については計画を下回る状況であるが、昨年度より僅かにプラス側で推移していることを報告した。 (有)共同土質試験の営業実績についても審議し、4～6月期の売上げは売上計画に対して下回っていることを報告した。 議案（２）その他 ア. 令和7年6月27日に当組合会議室において、職員7名が北海道能力開発促進センターによる生産性向上支援訓練を受講した事を報告した。 イ. 第9回SRC理事長杯ゴルフコンペについて、令和7年9月6日(土)、札幌エルムカントリークラブ東コースで開催する事を報告した。 ウ. ジオ・ラボスキルアップ研修会(8月)、全地連技術フォーラム2025(9月)、ジオ・ラボ技術交流会(10月)それぞれ職員が参加予定である事を報告した。 エ. 令和7年6月1日の改正労働安全衛生規則施行に従い、熱中症対策マニュアルを作成し、職員へ配布・周知を行った事、その他安全関連マニュアル等の整備を行っている事を報告した。 オ. 来年度の総会日程は、令和8年5月25日(月)に開催することを決定した。 カ. 次回理事会は、令和7年9月16日(火)に開催することを決定した。



組合員代表者変更について

下記の組合員に代表者の変更がありましたのでお知らせいたします。

記

上山試錐工業株式会社

(新) 代表取締役社長 渡邊 孝文 (旧) 上山 弘 令和7年7月

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 北海道支社

(新) 執行役員北海道支店長 佐藤 春夫 (旧) 土本 浩二 令和7年7月

日本工営株式会社 札幌支店

(新) 札幌支店長 岩佐 卓実 (旧) 橋場 克泰 令和7年7月

組合員社名・所在地変更について

下記の組合員に社名及び所在地の変更がありましたのでお知らせいたします。

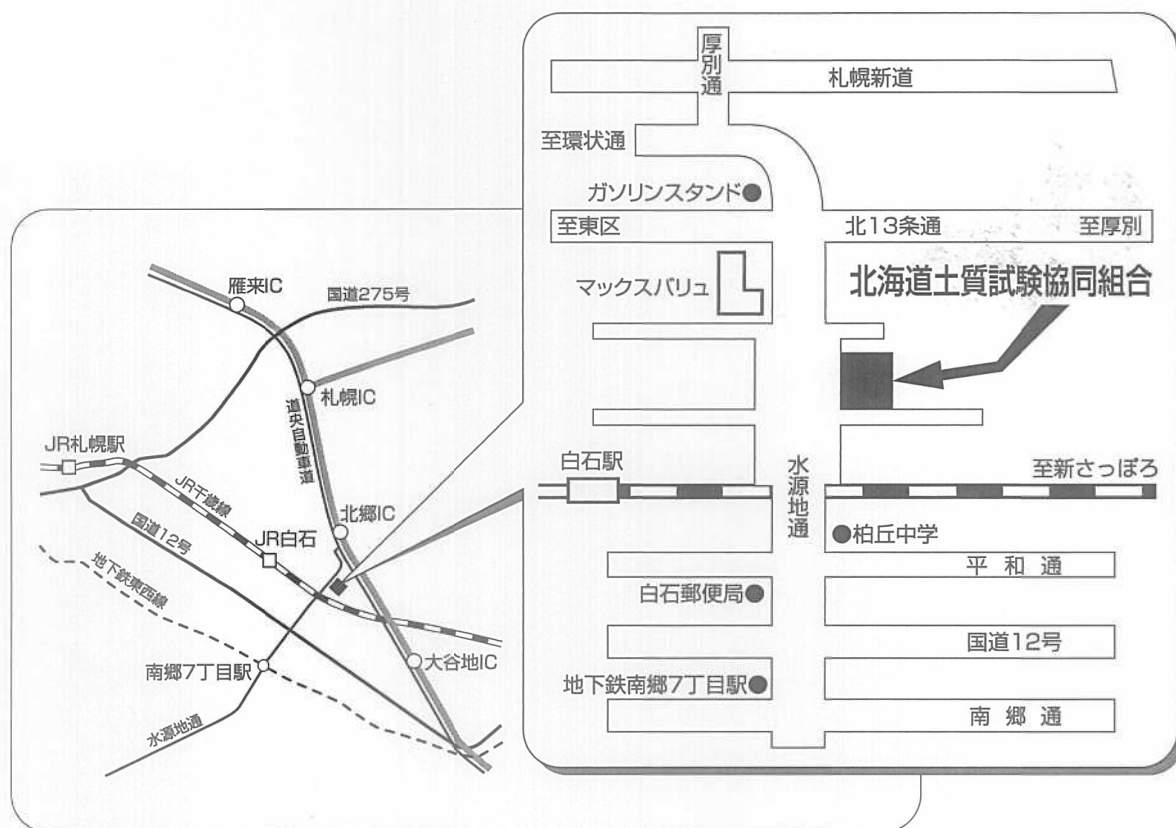
記

(新) 防災地質コンサルタント株式会社

札幌市北区新琴似8条15丁目3番23号

(旧) 防災地質工業株式会社

札幌市北区新琴似7条15丁目6番22号



① 高速道路を利用した場合

旭川方面から 札幌IC出口より 約10分

小樽方面から 大谷地IC出口より 約10分

室蘭方面から 札幌南IC出口より 約15分・北郷IC出口より 約8分

② 国道を利用した場合

旭川方面から 国道12号 から水源地通りを右折

小樽方面から 札幌新道(国道274号)から厚別通りを右折し水源地通りを左折

室蘭方面から 国道36号 から水源地通りを右折

③ 公共交通機関を利用した場合

JRを利用した場合 JR白石駅下車、徒歩約15分

地下鉄を利用した場合 市営地下鉄東西線、南郷7丁目駅下車、徒歩25分

又は、北海道中央バス(白25番)に乗り継ぎ、北郷2条8丁目下車

●発行所

北海道土質試験協同組合

〒003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号

TEL 011-873-9895 (代表)

FAX 011-873-9890 (総務部)

FAX 011-874-1910 (技術部)

ホームページアドレス <http://www.src.or.jp/>

地質調査業者登録

土壤汚染指定調査機関登録

ISO/IEC17025:2018認定登録

●発行日

第414号 令和7年9月15日

●編集責任者

竹花 大介

●印刷

株エーシービー TEL 231-7575

